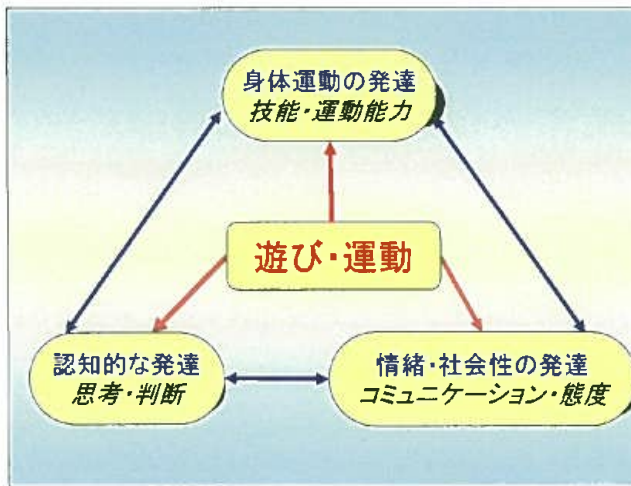


平成27年5月9日(土)

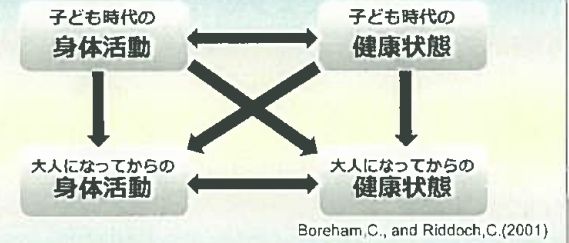
郡山市震災後子どものケアプロジェクト
運動実技講演会及び研修会 PEP UP Koriyama

子どもにとっての運動遊びとは

山梨大学教育人間科学部長
大学院教育学研究科長
教授 中村 和彦

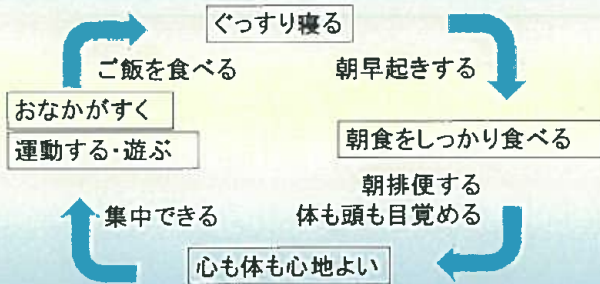


身体活動と健康状態の相互作用と持ち越し効果

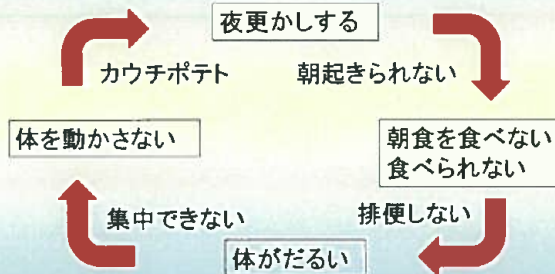


子ども時代の身体活動習慣は……
子どものときの健康や体力だけでなく、
大人になってからの健康や体力に影響する!

生活習慣は連鎖する 良い連鎖(30年前までの日本)



生活習慣は連鎖する 悪い連鎖(現在の日本)



4つの生活習慣

- 体を動かすこと: **運動・遊び**
- 食べること: **食事**
- 寝ること: **睡眠**
- 排泄すること: **排泄**

- 「生理的欲求」の無いものは?
- 「快」という言葉がつけられないものは?
- 本来総合的に獲得すべき→カッサンドラの会
宮島則子(食事) 神山潤(睡眠) 加藤篤(排泄)
中村和彦(運動・遊び) 瀧井宏臣(子どものライフハザード)
「四快のすすめ」(新曜社)

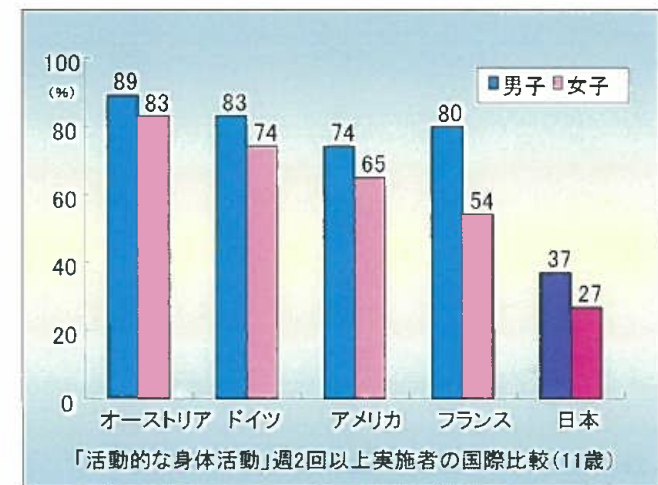
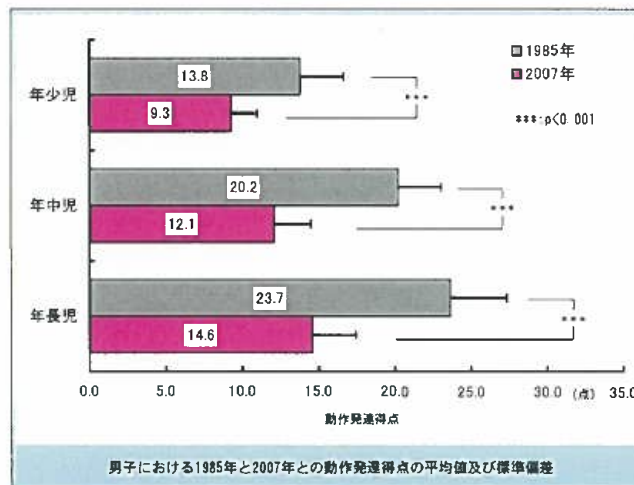
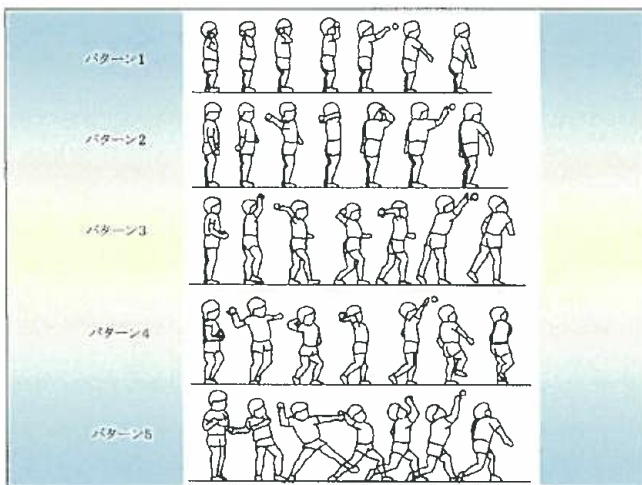


幼少年期の動作の発達

2・3歳 (未熟な初期段階) → 成熟・学習 → 11・12歳 (成熟した段階) (完成レベルへの接近)

- 動作の多様化** (動きの量的獲得)
=並列的に、順序性を持って=
動きのレパートリーの増大、バリエーションの拡大
- 動作の洗練化** (動きの質的習得)
=合理的、合目的な動作への変容=
随伴動作・過剰動作の減少
ぎこちなさ、力みすぎ、滑らかな運動経過
動きの結合(運動組合せ)の成立





今日の幼児教育・保育の問題点

幼稚園・保育園における問題

- 保育の中にスポーツや体育といった特別の時間を設定 → **自由保育が展開しない**
- 外部指導者による運動保育・幼児体育の実施 → **特定の体操やスポーツ指導のみ**

降園後(家庭・地域)における問題

- スポーツクラブ・スポーツ教室 → **単一スポーツのみの実施**
- **遊びの消失(運動量の不足)**
- **(動作習得の機会消失)**

諸外国の子どもスポーツに学ぶ...

○アメリカ

- 小学生以下の全国大会・ブロック大会の全面禁止
- 子どものスポーツクラブは、3種目以上

○イギリス

- UKスポーツ: 多種目の運動遊び・スポーツの実施
- トレーニング・練習をせず、スポーツを楽しむ

○ドイツ

- スポーツ・ユース: 地域スポーツでの青少年育成
- プレイ・リーダーの養成と実践

○オーストラリア

- 低体力・運動嫌いな子どもへの取組
- コーディネーター/プレイ・デリバラーの養成と実践



プレイリーダーとは...

- ドイツ: 保育園・幼稚園で、スポーツユースと連携して働く「ガキ大将」
- オーストラリア: AASCの展開の中心的役割として雇用している「プレイデリバラー」
- 羽根木プレイパーク: 1979年(昭和54年)に日本にはじめて開設された「冒険遊び場」におかれた子どもの遊びの専門家
- ポーランド「キドキド」・イオン「スキッズ・ガーデン」: 室内での運動遊びの「仕掛け人」
- JTL: 「ボールであそぼう」マイスター

プレイリーダーの役割

- 子どもがいまいきと遊ぶことのできる環境をつくる。
- 子どもの興味や関心を引き出す遊び場の整備。
- 遊び場の状況に応じた子どもへの声かけ。
- いっしょに思いきり遊び、子どもが厚い信頼をよせる相手となる。
- 大人(保護者)に子どもにかわって子どもの気持ちを伝える。

求められる子どもの運動のあり方

- 競技志向を軽減する。
 - 本来の子どもスポーツの復活。
- 複数の運動遊び・スポーツが体験できる場の提供。
- 低体力・低運動能力の子どもへの運動遊び・スポーツの提供。
- 運動嫌いな子どもが、遊びやスポーツにのめり込む取り組みの推進。

小学校体育科の改善

<キーワード2>

指導内容の体系化

1, 2年	3, 4年	5, 6年
体づくり運動		
器械・器具を使つての運動遊び	器械運動	
走・跳の運動遊び	走・跳の運動	陸上運動
水遊び	浮く・泳ぐ運動	水泳
ゲーム		ボール運動
表現リズム遊び	表現運動	
	保健	

運動領域を6領域で構成

4. 幼少児期の運動の在り方

(1) 運動の発達の特性と動きの獲得の考え方

「動きの多様化」「動きの洗練化」

年齢別に、運動発達の特性と経験しておきたい遊び(動き)の例示

(2) 運動の行い方

- ① 多様な動きが経験できるように様々な遊びを取り入れること(特定のスポーツのみでは問題がある)
- ② 楽しく体を動かす時間を確保すること
→ 毎日、合計60分以上を目安に
- ③ 発達の段階に応じた遊びを提供すること

文部科学省「体力・運動能力、運動習慣等調査」より

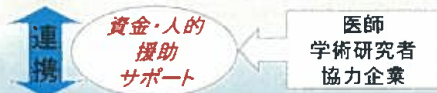
新しい部活動の展開

- ・ **文化部生徒のための身体活動**
 - ・ 運動が嫌いな子ども・運動が苦手な子どもの加入促進
 - ・ 体力・運動能力が低い子どもの加入促進
- **競技志向と「楽しい運動」指向の共存**
「卓球部」と「温泉卓球クラブ」

郡山市での放射線低線量環境下における子育て事業

PEP Kids Koriyama 運営	運動・発達 支援	地域の育 て支援	子どもの 心のケア	放射線 対策
プレイリーダー 養成、派遣 モンチンスタッフ 養成、派遣	運動場設置 遊び場整備 体力増進・ 体の発達理解 啓発活動	地域の産産 施設での フリースペース 子どもの心のケア 積極的な交流	年々別の心のケア 継続的な精神的 サポートと治療 精神障害者 啓発活動	地域への啓蒙 健康相談 災害対策・高齢 会との連携

NPO 郡山ペップ子育てネットワーク 5月10日発足



郡山市震災後子どものケアプロジェクトチーム 8月11日設立
(市子ども部、教育委員会、医師会、幼稚園協会、保育園連絡協議会、大学、学識経験者)

健やかな子どもを育む

—3つのKEY WORDS—

統一性：目的・重要性の共通理解

構造化：地域のネット、モデル化

継続性：長期的な取り組み

2020東京オリンピックムーブメント & レガシー

日本の子どもすべてを元気にする
「遊びキッズニア・遊びバイキング構想」

- ・ 幼児・障がいを持つ子ども・運動が苦手な子ども・運動が嫌いな子ども・体力が低い子ども
だれもが遊び・運動できる仕組みづくり

日本の子どもすべてに遊びを届ける
「プレイリーダー育成事業」

- ・ おもしろくのめり込む遊び・運動を子どもに届け、子どもの成育をみながら、少しずつ身を引いていくことを理解・認識したおとなの育成

2020東京オリンピックムーブメント & レガシー

「遊びキッズニア・遊びバイキング構想」

「プレイリーダー育成事業」

実現に向けて……

・ 他領域の方々との連携

日本保育学会・子ども環境学会・乳幼児精神保健学会
日本小児保健学会・日本心理学会…

・ 他分野の方々との連携

行政省庁・外郭団体・企業・NPO・マスコミ・政治家…

・ キー・パーソンから学ぶ

大島謙吉・仙田満・嶋村仁志・川淵三郎・山下則之
山中正竹・市原則之・高崎尚志・瀧井宏臣・根本匠…

「子育て」とは……

「親離れ」「子離れ」のプロセス

……そして「親育ち」

「教育」とは……

「子どもを教え育てる」

……そして「子どもから
教えられ育つ」

ありがとうございました。

本日は、私の話をお聞き頂き、
ありがとうございました。子ども
達とともに、皆さん自身が心豊かに
健やかな日々を送られることを
心より祈念いたします。

山梨大学大学院総合研究部 中村和彦
kazuhiko@yamanashi.ac.jp